

協働事業評価シート（第三者用）

部課名	環境部 環境政策課
記入団体名	福原ファームクラブ

令和3年度

予算事業名	環境基本計画推進事業
-------	------------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	かわごえエコツアー事業	
協働事業の概要	<p>市内の環境の現状と保全活動の大切さを学び自主的に環境活動に参加する人を増やすため趣旨に賛同した市民活動団体に協働委託して実施するものである。</p> <p>実施日：令和3年11月24日（水） 行程：ウェスタ川越ーたばちゃん農園ー寺尾調節池ー高階市民センターー下新河岸・日枝神社ー中央公民館ーちゃぶだいーNANAWATAー（喜多院）ーウェスタ川越 参加者：17名</p>	
協働事業の決算額	90,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	令和3年9月22日 ～ 令和3年12月24日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評 価 の 視 点	実施段階	評 点		
			行 政	団 体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	35 点
------	------



【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

協働事業は、それぞれの団体（民間・行政）が持っている利点や得意分野を活かした事業ができる制度であると考えております。

今回のエコツアーに関しましては、団体側が有している企画・運営力やネットワーク、行政が有している広報力や市民からの認知度を一体化することによって、より高い次元での事業が実施できたものと考えております。

企画内容は、バランスよくバラエティに富んだ内容となっており、参加者からの感想をみても、質の高いよい事業が実施できたものと考えております。

【市民活動団体等】

エコツアーの一番の心配は天候です。自然系の環境ポイントが多いので、雨が降ると活動が難しくなります。その点今年も天候に恵まれ、冠雪の富士山を二カ所で見ることが出来ました。

たばちゃん農園、寺尾調節池、新河岸・日枝神社、それぞれに説明をしてくれる講師陣は参加者から「プラタモリ」みたいと言われる程の博識でした。

午後のちゃぶだいでは、「SDGs」の本を出版している川越在住の高橋真樹氏の話と、ちゃぶだいの雰囲気、参加者が環境を身近な問題として捉えることが出来たと思われま

社会を変えていく「個人の努力」と、「社会に広める活動」の具体案が提示され、これからの環境活動に新しい方たちの参加が期待できるのではないのでしょうか？

今回も高階市民センター、中央公民館の公的な施設を協働事業として使わせていただいたことに感謝です。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		総合評価
A	8	A
B	2	
C		
D		

【事業に関するコメント】

・マンネリにならない工夫もされているようで、たいへん面白い取り組みだと思えます。

・環境を広域的にとらえ、自然的なものから（寺尾調節池、日枝神社の湧水）、人間活動的なもの（たばちゃん農園）、時代の流れにそったもの（リメイクのちゃぶだい、SDGs）まで多岐に渡ってうまく組み合わせたコース設定と、素晴らしい解説者陣のようで意義深い事業になったと思えます。タイミングがあわず参加できなかった事が残念です。

協働事業名称 かわごえエコツアー事業

【事業に関するコメント】

・市内の環境スポットを見学し、講師から各所の環境面における説明を受け、環境に対する理解を深めるとともに新しい方たちが参加できるよう活動を進めていただきたいと思います。

・団体、所管課ともに高評価であり、協働事業として良く機能したと考えます。あえて指摘するとしたら、①参加した人の環境意識変化や行動変化につながったか。②川越環境ネット等との共同開催などを考え、もう少し規模を大きく、広く、何回もトライしていただけると良いと思います。

・参加者の人数制限を行うのであれば、川越市のyoutubeを利用するなどして、エコツアーの様子を市民に伝えてもよいのではないのでしょうか。平日の日中開催も見直せないのでしょうか。市民が対象なのでバスの利用にこだわらなくてもよいのではないのでしょうか。コロナ対策として人数を制限するのであれば、回数を増やし時間を短くしたポイントでの開催も考えられるのではないのでしょうか。予定人数25名から17名の実施と参加者が減少したことで一人あたり5,000円を超えるコストとなっており、予算消化意識が強すぎるのでは？

・参加者をしっかり増やしてほしい。バスがもったいない。内容は素晴らしいと感じます。

・毎年さまざまな環境スポットを巡り大変良い企画だと感心します。また、担当課との協働もうまくいっている様子が報告書からも感じられます。コロナ禍の中、バスを使用しながら巡るには、大変だと思います。環境とSDGsは密接な関係にあり、良い勉強をされたと思います。これからも良い企画をお願いします。

・活動団体と行政の目的と成果の一致が自己評価にも表れている。また、現代の川越市の課題の解決への支援にもなっているのがよい。いつも新しい川越を知ることができてうれしい。

・エコツアーに参加される人が広く多くの方が参加されるよう望みます。

・行政と協働することで、環境ボランティアのすそ野を広げることが達成しており素晴らしい。古民家カフェちゃぶだいの訪問を組み込むなど、頑張る民間施設をコースに入れることで、行政ではできないことを実現している。トイレ利用で公民館を使うなど、行政施設を使いこなすコーディネート力も良い。

協働事業評価シート（第三者用）

部課名	こども未来部こども政策課
記入団体名	NPO法人川越子育てネットワーク

令和3年度

予算事業名	子ども・子育て支援新制度
-------	--------------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	子育て情報誌作成	
協働事業の概要	川越市では子育て中の方やこれから子育てをする方が、安心して子育てができるよう、行政の制度、各種相談窓口、出産・子育てに関する情報などを紹介する情報誌を作成している。その中の20ページ分を市内の子育て中の市民と一緒に当事者の視点で必要な情報を掲載することとし、参加市民の募集や情報のとりまとめ、作成を行う。	
協働事業の決算額	150,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	令和3年6月29日～令和4年3月31日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評 価 の 視 点	実施段階	評 点		
			行 政	団 体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	4	5	4.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	34.5 点
------	--------



【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

当事業は今回で20版目となる子育て情報誌の作成を行うもので、子育て当事者と行政双方の視点から子育て情報を掲載し、市内の未就学児のいる世帯へ冊子を配布することで、子育てを支援するものである。

掲載内容については、協働事業の実施により、市民活動団体の意見を取り入れながら、ニーズに合った情報を掲載することができている。

平成27年度版からは、編集印刷等を担当する民間事業者と協定を締結し、3者で事業を実施している。

これまでは、冊子による情報提供がメインであったが、WEB版で閲覧していただくページを作成し、より読みやすく情報が得やすいような冊子づくりを目指した。

また、20版目であることと、市制施行100周年という節目であることから、市長との対談を特集記事として提案していただいた。新たな取組として挑戦し、協力して記事作成を進めることができた。

このように、今後も市民団体と市が協力して作成することで、より必要とされている情報を必要な方法で届けられるよう情報発信を進めていきたいと考える。

【市民活動団体等】

いつか実現したいと思っていたこえどちゃん世代と市長の対談が、市制施行100周年と子育て情報誌20版目という節目に「記念企画」として実現することができてとても嬉しかった。

母親だけではなく父親の参加もあり、対談に参加したのは3人とも自分の言葉で積極的に市長と対談に取り組んでくれ、対談後「有意義な時間だった」と全員から感想をもらった。

毎年この事業に応募するにあたり、企画会議を実施し「テーマ」を決めるのだが、コロナ禍になってからは特に「テーマ」の重要性を感じている。

担当課とは話し合いや意見交換を何度も重ね「こえどちゃん世代に何を伝えたいか」を考えるとワクワクした。

また、ママ記者やサロンの参加者から「今度は作る側として関わってみたいと思った」との参加動機もあり、読み手から作り手へという良い循環が生まれていることを感じる。

反省点は昨年に続きプレママパパ対象のWEBサロンは参加者が集まらず不成立となった点だ。プレママパパに情報が届きにくいのは、コロナ禍だからというわけではないが、引き続き川越の出産事情なども踏まえ、担当課とともに検討していきたい。

発行は令和4年6月であり、現在も校正作業が続いており、まだ完全には終わっていない事業ではあるが「協働」の利点を最大限に生かすことができた会心の1冊になると確信している。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	9	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。	総合評価 A
B	1	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C		当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D		協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

• いかにしてwebへの対応を進めていくのか、若い方々の知恵を集めて取り組んでもらいたと思います。

協働事業名称 子育て情報誌作成

【事業に関するコメント】

・協働事業として、理想的な形態を実施され、今年度も総合的に高評価であったものと理解する。そういう中で事業目的に沿った事業内容の実施であったかの間について行政側の評価が4であった。その理由が何なのか今ひとつわからなかった。

・川越子育て情報誌「こえどちゃん」は子育て中の母親、父親達に大変役立っています。今後とも続けて発行される事をお願いしたいと考えます。

・情報誌が時間的にこの報告と合わないのは残念だが、団体としての活動はほぼ完了していると理解しました。

・毎年やり残しはあるものの更に進化をお願いします。（国際化、デジタル化、パパママwebサロン）

・webサロンの参加者が集まらない根本原因は何なのか？昨年に続く実績とのことなので、担当課の募集方法に問題があるのではないか。

・webサロンも成功させてほしい。

・市長との対談大変興味があります。コロナ禍の中での作成は大変だったと思われます。ただ、このような社会情勢の中で孤立感をいただいている親子がたくさんいると聞いています。子育てにやさしい川越を全面に出すのはどうしたら良いでしょうか？

・市民の要求、行政の要求の一致が見られ、より有効性と感じる。継続して同じようなことをやっているのだが、制作物と読んでみると必ず新しいインフォメーションを与えているし、社会の変化による新たな需要とアイデアを与えているのはすばらしい。中心的視点もぶれていない。

・webサロンの難しさはあると思いますが、更なる挑戦を期待しております。

・市長とのパパママの対談も、市の広報誌よりも身近に政治を感じる効果があり、市長にとっても政策のいい発信の機会になったと思う。いつもながらこの予算額が、市民団体のやりがい搾取につながらないかを危惧する。他市の子育て情報誌は業者が作成した電話帳のようなものが多い。この冊子を作成できる川越子育てネットワークの存在と実績をもっと行政は評価するべき。

協働事業評価シート（第三者用）

部課名	食品・環境衛生課
記入団体名	小江戸地域猫の会

令和3年度

予算事業名	協働委託事業
-------	--------

新規 <input type="checkbox"/>	継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-----------------------------	--

協働事業名称	地域猫活動推進事業	
協働事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「川越市飼い主のいない猫の不妊・去勢手術に対する補助金交付事業」等、市からの依頼により、飼い主のいない猫の捕獲が困難な人に対し、捕獲の協力をを行う。 ・「川越市飼い主のいない猫の不妊・去勢手術に対する補助金交付事業」に係る広報活動として、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術について、広報を行う。 ・電話相談対応を行う。 	
協働事業の決算額	100,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	令和3年 8月 5日 ~ 令和4年 3月 31日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評 価 の 視 点	実施段階	評 点		
			行 政	団 体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	4	5	4.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	4	5	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	5	4.5
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	4	4	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	32 点
------	------



【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

協働委託事業として2年目の実施となりました。

新型コロナウイルスの影響もあり、昨年度同様、活動内容や活動実施時期を変更した部分もございましたが、広報活動及び飼い主のいない猫の捕獲協力、助言を行っていただき、お互いに共有する目的に向かって、活動に取り組むことができました。

協働委託事業として実施する事業として難しい面もございますが、本年度できることとして、新たな広報活動の実施として、ポスター作成を行うことができました。飼い主のいない猫の不妊・去勢手術を行うことにより、繁殖抑制を図り、地域の良好な生活環境を促進する目的を共有して、共に活動に取り組むことができたことに感謝申し上げます。

【市民活動団体等】

6年にも及ぶ協働での事業を進めてきましたが、当初に比べて大きく進歩していると感じています。世相も動物愛護に軸足が来るようになり、市民の皆様も理解も進んできています。しかし、まだたくさん問題が存在し、活動の人材不足も解決していません。今後も行政と協力しながら、他市がうらやむほどの命に優しく生活環境の整った川越市を目指して活動していきたいと思っております。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		総合評価
A	7	A
B	3	
C		
D		

【事業に関するコメント】

・難しい事業を粘り強く続けていると感じます。

・協働委託事業として更なる展開を期待します。特にこのコロナ禍での事業展開となるので、新たな問題発生（課題の発見）が考えられます。適切な対応できる事を期待します。

協働事業名称 地域猫活動推進事業

【事業に関するコメント】

- 野良猫の不妊手術をする事で繁殖抑制を図る等、本当に地味な活動ですが、今後とも活動を続けてほしいと考えます。
- 所管課の役割に較べ団体は実働を担当し大変だったと推察します。団体が困っている専門医や診療所設置等について、市としても前向きに取り組むべきと考えます。
- 猫のトイレはよいアイデア。基本的に市、保健所の仕事だが、猫の会の活動は重要。参加者を増やしてほしい。（写真展等の工夫）
- コロナ禍の中、実際の活動は難しかったと思われます。飼い主のいない猫の捕獲、不妊や去勢手術に対する補助金制度が以前より市民に広まった感があります。地域猫トイレ設置に興味があります。
- ほぼ団体と行政の目的観や活動に関する考え方が一致した事業であると思う。市にとっても必要である。さらに行政と役割分担について検討し合い、より効果的な活動にしてほしい。市民の責任も大切。
- 不妊、去勢手術の費用が一般的には2～3万円かかると聞いていますが、補助金はそれに見合っているのか疑問です。
- 地道な活動に時代が追いついてきた。コロナでペットとの関係性や、地域で過ごす人が増え、地域環境に興味を持つ人がふえた。自治会へのポスター配布は素晴らしい。また、商店でのPR活動など支援者の広がりを感じる。

協働事業評価シート（第三者用）

部課名	地域づくり推進課
記入団体名	特定非営利活動法人アートバーズフォーラム

令和3年度

予算事業名	協働委託事業
-------	--------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	こえど市民活動ネットワークプロジェクト		
協働事業の概要	<p>市内の市民活動団体等の情報発信および団体間のネットワークづくりを促進することで、市民活動の活性化並びに協働の推進を図る。 （市民活動団体等の情報集約および発信記事作成等） 市内の市民活動団体の取り組みを取材し、市ホームページに掲載するためのコンテンツ素材（テキスト、写真、動画）を作成する。（記事は年8団体程度。取材対象団体は、受託事業者の提案を基本に、市が決定する。） また、オンラインを活用した市民活動団体のネットワークづくりを行う。</p>		
協働事業の決算額	225,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	令和3年7月 ～ 令和4年2月		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評 価 の 視 点	実施段階	評 点		
			行 政	団 体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	4	3	3.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	33.5 点
------	--------



【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

オンライン会議の特性から、その動画を一つのコンテンツとすることによって出演者の発言や映像との組み合わせにより、非常に強い情報発信力を持ち、印象的な効果を実現できると思った。

本市の公的事業であることは、画面表示で行いつつも「行政」を全面に出すことは抑制する方向を基調としたところ、会議の場では市の役割を責任を明確に打ち出す必要を感じた。

全体的に実施団体のスキルに頼みつつ市の要望を組み入れ、当初の企画を大胆に展開していただいたと思う。

現在、随時公開を進めている動画について、今後効果的なPRを行い、多くの市民活動団体等にご覧いただき、活動活性化の一助となるよう取り組みたい。

【市民活動団体等】

副次効果として

- 1.各団体の動画作りはなかなか自団体では時間もなく、技術的にも難しい。費用もかかる中、こゝろ市民活動ネットワークプロジェクトを使うことによって、市民活動団体の活動内容がわかりやすく情報発信できるようになった。
- 2.少人数の関連団体によるオンラインミーティングでは、結果としてリアルに行うシンポジウムよりも内容の濃いミーティングを開催できた。
- 3.動画は協働事業の成果として、川越市のホームページに掲載されることにより、市民団体のオフィシャル性、信用力も高めることができた。
- 4.作成した動画を団体のイベントなどでの二次利用をすることができ、活動内容など団体の情報発信に何度も利用することができる。
- 5.協働事業の内容をわかりやすく伝えるツールとしても使える。「ワークショップ・情報コーナー」の利用促進に係る記事素材作成にも活用できる。
- 6.NPOアートバーブズフォーラム側も取材された側の団体からも良い動画ができると信頼が深まるようになり、今後の事業の一つの柱にしていけるのではと考えるようになった。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	7	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。	総合評価 A
B	3	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C		当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D		協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・ネットワークづくりには非常に大きな困難が伴う中、webツール等を用いて努力されていたことがわかります。元来、なかなか成果が見えづらいテーマでありながら、少しずつではあるものの前に進んでいることもわかります。引き続き頑張ってくださいと思います。

協働事業名称 こえど市民活動ネットワークプロジェクト

【事業に関するコメント】

- コロナ禍での有効な事業形態とは何かを更に検討し、より良い協働事業となる事を期待します。市のホームページにこのような動画があることを周知させることも重要ではないか。
- 作成した動画を団体のイベントなどで二次利用することができる等大変良いことだと思います。
- 今回実施されたオンラインインタビューや、オンラインミーティングを拝見し、市民活動団体が見えるように感じました。また、ネットワークプロジェクト活動がその端緒についての気がします。今後、さらに団体の広がりや相互接点の構築に協力をお願いします。
- 川越市のyoutube登録者数が少ないので回数が少ないのか。高齢者の委員は知らない状況。ターゲット層はもう少し若年層と思われるため、コンテンツの工夫（自分たちに役立つ情報）が必要ではないか。
- 市民がもっと視聴できるよう、PRしてほしい。
- やっとこえど市民活動ネットワークプロジェクトらしい内容になってきた。一つの団体活動の活性化を図りながら、このネットワークをどうしたいのかが今後の課題ではないか。
- 目的に沿った事業内容ができたかに関する評価が、団体も行政も低いというのが目立つが理由は何か。
- 政策として行なう以上、担当課がNPOと協働し、具体的な目標及び成果を掲げることを期待する。委員としては提案事業応募団体の増加や新規団体の開拓などにつながるアイデアなどを担当課が提携団体から得てほしい。コロナ禍でオンライン、WEBでの団体紹介は良い。多くのひとに観てもらおう努力をこれから行政のチャンネルをフル活用して行ってほしい。